

☆The 2nd Japan-France Coordination Chemistry Symposium 2013☆

共催：インタラクティブ物質科学・カデットプログラム

2013年11月24日(日)～28日(木)

場所：東大寺総合文化センター（奈良市）

参考 URL： <http://www-bfc.mls.eng.osaka-u.ac.jp/JFCCS2013/Welcome.html>



Prof. Christian Amatore



Prof. Jean-Pierre Sauvage



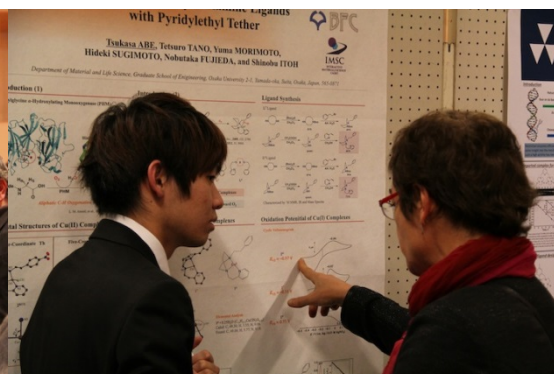
真島和志先生



藤田誠先生



会場での様子



ポスターセッションで議論する
阿部司さん（左）



<主催した先生から>

Christian Amator 教授 (フランス科学アカデミー会員) や Jean-Pierre Sauvage 教授 (超分子化学の第一人者)、北川進教授、藤田誠教授 (両名ともノーベル化学賞候補との呼び声が高い) を始めとして、日仏のみならず世界を代表する錯体化学者が集い、4日間のセッションを通じて、金属と典型元素の結合に関するミクロな議論から、金属錯体の集積体が発現するマクロな物性まで、金属錯体について非常にハイレベルなディスカッションを行った。口頭発表はフランスから 21 件、日本から 25 件があり、カデットプログラム担当教員の真島先生が招待講演を行った。 (森本祐麻特任助教)

<参加&運営に協力した学生から>

本学会に参加し自分の研究内容についてポスター発表を行った。本学会は国際学会であり、不慣れな英語での発表であったが自分にとって非常にプラスになる経験であった。また他大学の同世代の学生も数多く参加しており、他の学生がどういう研究をしているのかを知り、ディスカッション出来たので非常に良い刺激になった。また、今回は運営サイドとしても学会に参加し、会をオーガナイズするためには細かい点まで気を配る事の大切さが分かった。これを糧にさらに精進していきたいと思う。 (修士1年 伊東研究室 阿部司)